

国立大学法人北海道大学大学院工学研究院・工学院・工学部と 連携・協力に関する協定を締結

企画室

2011年11月24日、「国立大学法人北海道大学大学院工学研究院・工学院・工学部(以下、「北海道大学」と)と独立行政法人土木研究所寒地土木研究所との連携・協力に関する協定」(以下、「連携・協力協定」)を締結しました。

「連携・協力協定」は、北海道大学と当研究所相互の研究開発能力及び人材等を活かして総合力を発揮することにより、研究開発と教育の発展及び良質な社会資本の効率的な整備と北海道の開発の推進に寄与することを目的として締結されました。

連携・協力事項には、共同研究等の研究協力をはじめ、研究交流、教育・人材育成に関する相互支援及び研究施設・設備の相互利用が掲げられました。具体的には、これまで実施してきた土木分野の共同研究を中心としつつ、幅広く新たな分野での共同研究や公募型研究への共同参画などにより、研究活動の充実を図ることとしています。また、当研究所が、北海道大学大学院生等のインターンシップ受け入れ等を通じた教育指導や同大学の講師等として研究者を派遣することにより、同大学の学生教育に寄与できるのに対し、同大学からは、寒地土木研究所が実施する研究への指導、助言を頂くことにより、当所の研究者の資質向上が期待されます。さらに、両機関が所有する研究施設・設備を相互利用することで、研究予算を有効に活用できるほか、研究交流や共同研究への発展が期待できます。

北海道大学大学院工学研究院特別会議室で行われた連携・協力協定の調印式では、馬場直志大学院工学研究院院長・工学院院长・工学部長と川村和幸寒地土木研究所長により、協定書への署名及び協定書の交換が行われた後、双方から挨拶の言葉が述べられ、馬場大学院工学研究院院長・工学院院长・工学部長は、北海道大学が北方圏における各種課題についての教育研究プログラムを提供する『北方圏教育研究機関ネットワーク(University of the arctic)』の準会員として2011年6月に承認されたことに触れた上で、「積雪寒冷地に位置する研究機関として連携・協力することにより、相互の研究活動が促進される。」との考えを示されまし

た。これに対し川村所長は、これまでも当研究所が開催する技術者交流フォーラムや共同研究等を通じて北海道大学から御指導及び御支援を頂いていることについて感謝の意を表し、「北海道大学と積雪寒冷地域の土木技術に関する現場に密接した研究開発を担う当研究所が、さらに密接な協力関係を築くことにより、研究交流や教育、研究者の資質向上等の面でより一層の弾みがつくものと期待される。」と述べました。

今回の連携・協力協定の締結により、北海道大学と当研究所の連携・協力関係がより一層強化され、世界の積雪寒冷地域が抱える困難な技術的課題の解決へ向けた取り組みが進むことが期待されます。

(文責：星 卓見)



協定書に署名する川村所長(右)と
馬場大学院工学研究院院長・工学院院长・工学部長(左)



調印式参加者